

(第29号) ***電子ジャーナル3(運用編)***

今春の薬学部開設にともない、利用できる電子ジャーナル(=EJ)が大幅に増えました。EJ を有効に活用してもらうためには、タイトルリストのメンテナンスを欠かすことができません。利用可能なタイトル、閲覧期間、URLなどが目まぐるしく変わる状況に自前のリストでは対応しきれなくなってきたこともあり、今年からEBSCOの「A-to-Z」という管理ツールを導入しました。購読の有無、出版社の種類を問わず、統一した画面で効率的にEJリストを管理し、常に最新の状態に維持することが目的です。利用者にとっては、特定の雑誌がEJで提供されているか、その入り口はどこかを探し回る不便さから解消されるメリットがあります。

図書館HPトップにある《電子ジャーナル(洋)》(<http://atoz.ebsco.com/titles.asp?Id=IwatD190>)をクリックすると、本学で利用できるEJが一覧できます。雑誌を探す方法として、誌名の頭文字、誌名を構成する単語(一語でも可、略語は末尾に*)、主題、ISSNなどの検索キーが用意されています。閲覧できる年代の範囲や期間の制限などは、リンク先の横に記載されている注記で確認できますが、特に、複数のプロバイダ(提供元)からサービスされている雑誌の場合、それぞれ条件が異なる場合がありますのでご注意ください。

EBSCOが常にリンク情報を更新しているため、デッドリンクは少ないのですが、雑誌に付きものの誌名変更、出版社変更、廃刊などに対する情報提供が十分ではありません。また、バックナンバーが別料金の雑誌やプリント版に付随した無料EJの場合、電子化されている年代と本学がアクセスできる年代が異なるにもかかわらず、注記に反映されていないことがあります。年度初めに比較的多いトラブルとして、ID/PW不要の雑誌のはずなのに入力を要求されるケースがありますが、これは何らかの理由で更新手続きがうまく行われていないことが考えられます。ご不明な点がありましたら図書館までご連絡ください。

普段、データベースの検索結果から、Full textにアクセスしている方が多いと思いますが、直接のリンクがなくても全文を見られる論文がたくさんありますので、ぜひ本学のEJリストから雑誌名で検索してみてください。多額の予算を投じて購入しているEJを効果的に使ってもらうためには、広報や利用支援に努めなければならないのはもちろんですが、データベースからのリンク機能を強化するのが早道といえます。最近、二次情報(書誌事項)から一次情報(フルテキスト)、OPAC、学外文献申込画面へとシームレスに誘導する機能をもった管理ツールも登場しており、導入を検討中です。

図書館トリビア

この夏から、北京大学の図書館では読書環境を守るためにハイヒールやサンダル履きでの図書館への入館が禁止されたそうです。本学図書館でも「足音」への苦情が度々寄せられています。これからの季節、ミュール、下駄等も含め、館内での足元への配慮をお願い致します。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。
掲載内容を転載する場合は、典拠を明示願います。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館